



緑2 独立防災隊ニュース

回覧

第122号(新年号)2023年(令和5年)1月16日発行 発行人 隊長：中村 修治 編集人 広報部長：福澤 祥二



中村隊長

防災隊長 新年ご挨拶 令和5年 元旦

新年明けましておめでとうございます。日頃より自治会活動ならびに防災活動に対してご協力頂き厚く御礼申し上げます。コロナ感染予防の観点から全ての活動をこなす事が出来ませんでした。改めて地域の繋がりの大切さを感じております。

今年度は、緑が丘2丁目自治会も50周年を迎えます。現在、防災隊も高齢化社会が進み、隊員が減少しており厳しい状況です。自治会皆様方が安心して暮らせる地域づくりをこれからも近隣の助け合いを大切にしながら私たちの町を守る事を皆様と一緒に考えていきたいです。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

第10回 定例会 1月9日(月) 19:00～ 自治会館

- ・ 緑が丘中学校避難所運営委員会「欠員役員の補充」⇒ 緑2自治会からは井上副隊長を選出
- ・ 次回の機器点検、放水訓練 2月5日(日) 9:00～
⇒ 終了後、自治会館にて執行部会議予定(総会資料打合せ)
- ・ 第11回 定例会 2月12日(日) 19:00～ 自治会館
- ・ 防災隊定期総会 3月12日(日) 19:00～ 自治会館



火入れをする中村隊長

「どんど焼き」1月8日(日) 9:30～11:30

自治会恒例の「どんど焼き」が緑が丘2丁目公園スポーツ広場にて開催、コロナ禍の折、豚汁や焼き芋、竹竿での団子焼き等は中止となりましたが、例年通り防災隊員が参加、協力しました。

令和5年相模原市消防出初式 1月8日(日) 10:00～12:00

3年ぶりに淵野辺公園隣接地で開催され、式典のほか、車両分列行進、ラッパ隊の吹奏、消防署・消防団合同火災救助救出演技(屋上に避難者がいるとの想定で上空から現場の状況を把握するのにドローンが登場しました。)や在日米陸軍消防隊も参加しての一斉放水などが行われました。



車両分列行進の様子



火災救助救出演技の様子



一斉放水の様子

防災
まめ
知識

富士山ハザードマップが改定(2021.3.26)されました

●神奈川県内7市町に溶岩流が到達する可能性が：

富士山が噴火した場合、神奈川県内を受ける影響は、これまで降灰による影響のみ想定されていましたが、新たな火口が発見されたなどの要因により17年ぶりに富士山ハザードマップが改定され、神奈川県内7市町(相模原市・小田原市・南足柄市・大井町・松田町・山北町・開成町)に新たに溶岩流が到達する可能性があることが発表されています。

1. 富士山ハザードマップ(改定版)の要旨

3 大規模溶岩流の噴出量を現行(平成16年版)の約2倍である13億m³に変更したこと及び想定火口範囲の拡大や地形データの精緻化に伴い、溶岩流の到達可能性範囲が拡大。



【新たに溶岩流の到達可能性範囲を含むことになった市町】
山梨県：2市(大月市・上野原市)
静岡県：2市1町(静岡市清水区・沼津市・清水町)
神奈川県：3市4町(相模原市・南足柄市・小田原市・山北町・開成町・松田町・大井町)

「富士山火山防災協議会」資料より